

しょうらいのゆめ

# 将来の夢

future dream



沓掛小学校 4年  
田村 瑠渚さん

私は大きくなったらピアニストになりたいです。

ピアノをひいて多くの人を元気にしたいし、かっこいいのでなりたいです。ピアノだけでなく、色々な楽器もえんそうできるようになりたいです。

前に高校生のコンサートに行った時、一、二年生はダンスや歌、三年生は楽器をえんそうしていました。曲をきいてもらうだけでなく、人を楽しませてあげたいと思います。私も人を楽しませることがのできるピアニストになりたいです。



# ばいばい

## 短歌

畑隅に楚々と咲きたる萼の花車の煽りに白き風立つ

沓掛 木村 愛子  
【評】 車の煽りによつて萼の白花が一瞬揺れた。一瞬の情景を切り取り歌の輝き、響きが整っている。

【評】 おもしろいだけでなく、そこはかとない生活の哀愁を感じた。

ひよつとこのお面脱ぎたる童ふたり山車に憩へり袋のポテトと

折々に旅の計画練りつつも身体と心が日々かみ合わず

大型車が道路のくぼみを通る度震度二を感じず沿道の我家

衣被ぎ食べしを偲ぶ里の秋芋がら煮すぎも亡母に教わり

葡萄棚作りし今日の満足感昼酒晩酌我壮健なり

南房の宿より眺む秋の海サファア達波にのりいる

お彼岸に家族六人で墓参り供えしオハギ分け合い食す

良き友の残してくれた百日紅そつと手を触れあの日偲びつ

## 俳句

秋深し会津にいまも白虎隊

岩井 中川 達男  
【評】 城の炎え隔ちるのを見て自刃し、飯盛山の露と果てた会津松平藩の白虎隊(十五〜十七才)。

遠くとも切れぬ絆や十三夜

借宿 木村 歌子  
【評】 十三夜(後の月)十五夜の月ほどの華やかさはないが趣が異なり十三夜を好む人も多い。

月に心を寄せ古きよき時代の友を想ふ。

一枚を羽織る読書や後の月

秋深し心はづませ友と会ふ

仲良しの余生の旅や返り花

竹刀振る少年少女天高し

蝉時雨消えて閑かな宮の森

山里のいづくへ行くも柿の空

故郷の昔なつかし衣被(里芋の子)

こぼれ種百日草を咲かせけり

岩井 須井 林 清峰 選  
長須 山 矢作 生子 長須 岩井 林 清峰 選  
長須 山 矢作 生子 長須 岩井 林 清峰 選

短歌・俳句の作品を募集します！  
皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。  
選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864  
俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩井4633-1 ☎0297(35)1230